



桂地区社協だより

2021
7月号

発行 桂地区社会福祉協議会

5月11日第1回福祉推進委員会が開催されました。

毎年実施しているお茶っこ飲み会・敬老祝典等がコロナ禍の中、なかなか例年どおりの開催が難しくなってきていますが、コロナ対策の十分な対策を考えながら実施できないだろうか?どうしたら安全に開けるだろうかと意見を交換しました。

第1回福祉推進委員会開催

第1回福祉推進委員会開催

コロナ禍の中で…

気をつけて

元気で毎日を過ごそう！

- 外出時はマスク着用
 - こまめに手指の消毒をしよう
 - 密を避けて
 - 帰宅時はうがい・手洗いを
 - 適度な運動

要介護認定を受けた人、身体障がいやその他の障がいのある方は9割以上が、自治体が掲載している難病患者は6割にどまつていいとしている。仙台市では自分で申請にならな

災害時に避難の手助けが必要な住民の名簿「避難行動要支援者名簿」に難病患者を4割の全国の市区町村が掲載対象にしていないと記事があつた。

4割難病患者掲載せず
自治体の避難支援者名簿
(河北新報5・5朝刊掲載)

気になる二ニュース

酒井 和子（副会長）

私が社協と出会ったのは、十七年前民生委員児童委員になつた時でした。

民生委員として活動しながら社協活動、時に福祉の部分は厳しいと肩ひじ張つていましたが、おせつかい、小さな親切、の精神のもと活動を積み重ねていつたところ今まで続いているという、本人もびっくりの結果となつています。

昨年よりは副会長となり、歩く福祉活動のような会長と優秀な役員の方々の協力を得て今年度もいろいろと活動計画を立てているところです。これからも社協活動にご理解、ご協力をいただけるとうれしいです。

社協役員会メンバー自己紹介コーナー

寺嶋 潤子（会計・福祉推進委員長）

初代奥山会長が自宅に訪ねてきて、桂社協や子育て支援などの手伝いをお願いしますと言われてから十五年以上経ちました。

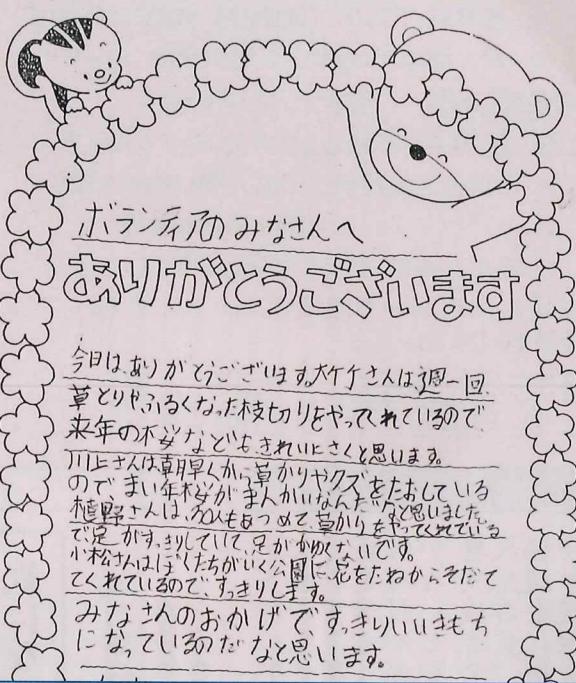
長年桂の街を支えていた初代奥山会長や前佐藤一男会長を含む方もお亡くなりになりました、自治会町内会をはじめとする諸団体の在り方も変わつていかなければ続かないだうと考へています。

桂に移り住んで、くじ運が良くないことが、P.T.A.をはじめ、様々な役員をやつて参りました。何で断り切れなかつた？と自分に問いかけること多々あります。皆様の笑顔に支えられています。

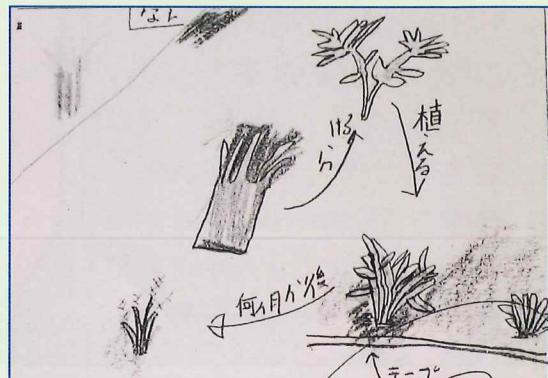
さて、どこの風景でしょう？ 答えは最後に…



ゲストティーチャーとして桂小学校に出前授業に行ってくださった方々へ
小学生からたくさんのメッセージが届いています ごく一部ですがご紹介します



どの感しよくが気持ちよかったです。田植えのコツや、ならべ方、持ち方も分かりました。2年生も楽しそうだったし、わたしたち5年生も楽しかったと思います。お米は88日間かかるのは知っていたけど、げん米から白米にする作業や葉から実をとる作業もふくめると5か月近くかかることも分かりました。2年生といっしょに楽しく育てようと思います。



土はドロドロだったけれども植えるのが楽しかったです。そして地生きの人たちと田植えができるよかったです。いねができたらおいしいお米になってくれるうれしいです。

はじめて入ったときは足を取られてころびそうだったけれどなれると楽しくなってきました。それにお米を作るにはとても長い時間がかかることを知りました。なのでこれからはお米を残さず大切に食べたいと思います。

4年生の総合学習のゲストティーチャーの方々へ

地域の方々と一緒に田植えをした5年生から

今は用心に用心を重ねて毎日の生活を元気に過ごすことに努めています。

皆さんと共に我々もつながりを考えております。

何か気になるニュースやご意見を桂市民センターの社協ポストまでお寄せください。

問い合わせは 桂地区社会福祉協議会

会長 岩原正直

まで

桂の風景の解答 左から 大倉緑地 桂島緑地 フェリシア入口付近のやまぼうし



桂社協のfacebookもぜひご覧ください